第36番 青龍寺
●高知県土佐市宇佐町竜163
☎088-856-3010
●宿坊／なし

第37番　岩本寺
●高知県高岡郡四万十町茂串町3-13
☎0880-22-0376
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

道の駅 かわうその里すさき

地元・須崎市の特産品はもちろん、高知県下の土産品や地酒も県下屈指の品揃えを誇る道の駅。1階の特産店では、ワラ焼きタタキなど、高知ならではの実演販売もあり。2階のレストランでは新鮮なかつおとネギをたっぷりのせた「土佐丼」や、須崎名物の「鍋焼きラーメン」が味わえる。

所 高知県須崎市下分甲263-3
☎ 0889-40-0004
営 9:00～18:00（レストランは11:00～18:00）
休 無休

沿線の見どころ

久礼大正町市場

かつおの一本釣りの町としても知られる中土佐町にある小さな市場。漁が終わり次第、商品が並ぶので、品数が充実してくるのはお昼頃。腹ごしらえをするなら、市場の中ほどにある食堂「浜ちゃん」へ。かつお丼や干物などが、市場ならではの手ごろな価格で味わえる。時化の日は市場が休みになるので注意しよう。

所 高知県高岡郡中土佐町久礼
☎ 0889-52-2060（市場のめし屋浜ちゃん）
営 店舗により異なる
休 店舗により異なる

境内の見どころ

三重塔

石段の途中に見える三重塔は平成4年（1992）に建立された。ひときわ鮮やかな朱色が、周囲に生い茂る木々の緑に映えて、思わず目を奪われる。静かな森の中に突如現れるその姿に、多くの人が足を止めて見入ってしまう。また、大師堂も平成に建て替えられ、真新しくも風格漂う造りとなっている。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

石段を上り詰めると、静寂に包まれた本堂が現れる

第36番 独鈷山 伊舎那院 青龍寺

とっこうざん　いしゃないん　しょうりゅうじ

大師が唐より投げた独鈷がここに

歴史・全体像

延暦23年（804）に唐に渡った弘法大師は、長安の青龍寺で恵果和尚に真言密教の奥義を授けられた。帰国にあたり大師は、日本にも青龍寺を建立したいと考える。そこで「約束の地に飛んでいけ」という願いを込めて、唐から密教の法具独鈷を東の方角へと投げた。その後、帰国した大師はこの地の老松に、自らが投げた独鈷が刺さっているのを見つけ、一宇を建立して不動明王の石像を安置。その後、一時衰退したが、土佐二代目藩主山内忠義が、正保年間（1644～1648）に再興した。しかし、宝永4年（1707）に津波と地震で大きな被害を受けたため再建された。

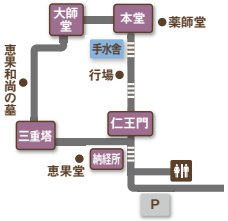
境　内

美しい浦ノ内湾を望み、宇佐の大橋を渡って青龍寺へ。本堂までは170段という急で長い石段が続く。石段の脇には愛らしいお地蔵さんが並んでおり、疲れを癒やしてくれる。途中には冷たい水が流れ落ちている行場や、鮮やかな色合いの三重塔などが見える。石段を上ると、大師堂、本堂、薬師堂が一直線に並んだ伽藍配置となっている。

本堂の軒先から内陣にかけては、海上安全を祈願して奉納された絵馬が数多く並び、現在も深い信仰を集めている。本堂前には石のお不動さんがたち、向かいには三十三観音の石像が並んでいる。

御詠歌／わずかなる泉に住める青龍は仏法守護のちかいとぞ聞く
本尊／波切不動明王
真言／のうまく　さんまんだ　ばざらだん　せんだ　まかろしゃだ　そわたやうん　たらた　かんまん
宗派／真言宗豊山派
開基／弘法大師

近年建て替えられた真新しい大師堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第36番 青龍寺 ▼ 第37番 岩本寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 36 番　青龍寺 ▶ 第 37 番　岩本寺

58.5km ※赤い点線は遍路道の一例です

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp